



「文化財なるほど探検隊」で昔の道具(自在鉤)を作りました。

自在鉤…^{いろり}囲炉裏^つの上に吊るし、^{なべ}鍋や^{どうぐ}鉄びんを引っかける道具です。引っかけた鍋や鉄びんの高さを自由^{ちようせい}に調整することができたことから自在鉤とされています(高さを変えて火力を調整できる)。

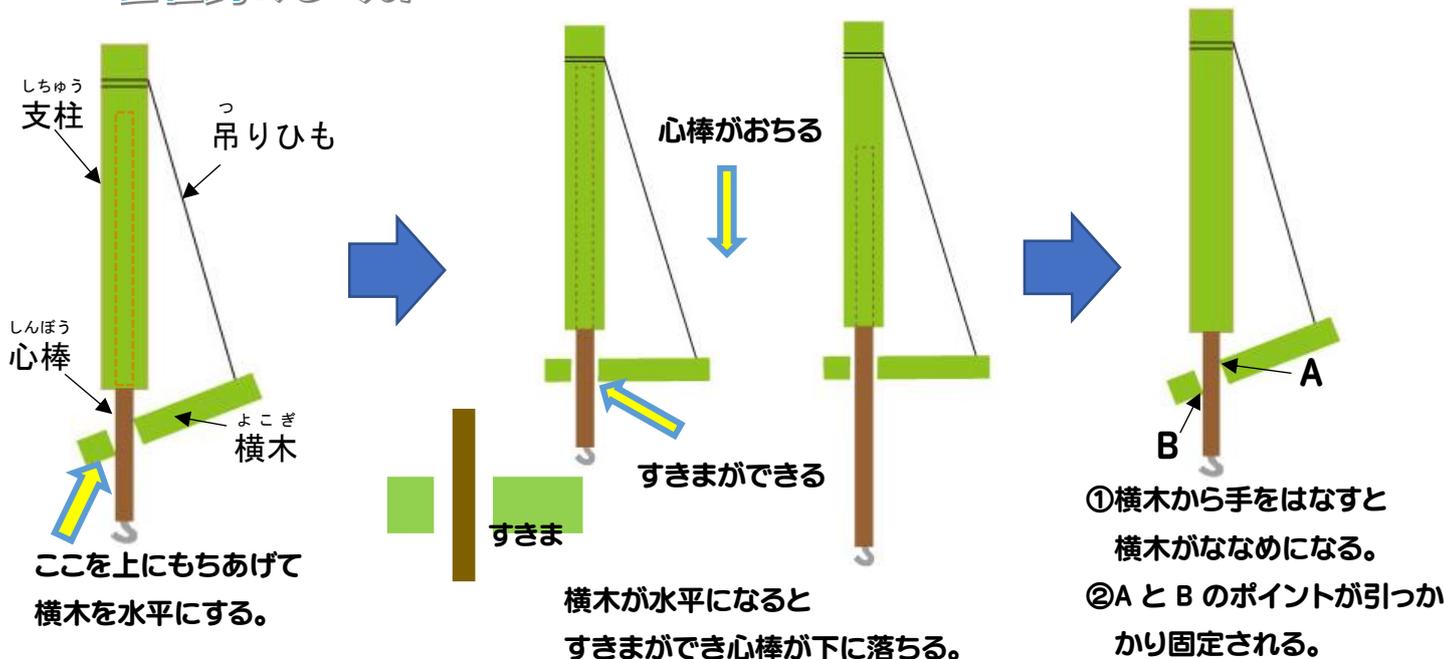


鉤がびよ～んと伸びる!

鉄瓶を火に当てたい時は棒をのぼす。

古代から存在した道具とされています。

自在鉤のしくみ



色々なデザインの横木



こづち
小槌

魚(タイ、コイなど)

えんぎ
縁起が良いとされるものがデザインされています。
また、^{さかな}魚は^{つう}水に通じるとい事で^{かじ}火事をさけるお守りの意味もあつたそうです。ふるさと展示室の自在鉤の横木はナスです。